に惜敗

利ならず

が予選リーグで高知のペアに28−26で競り勝った。

《水　球》

（土浦一高プール）

▽少年男子1回戦

沖縄（選抜）13（3−3 3−3 5−4 2−2）12栃木（宇東高）

▽得点者【栃】松原、高橋3、和田5、真光、木嶋2

宇東高・フローター和田昂大（1年生。チーム最多の5得点を決め）「全国大会を楽しむことができたが、もっと得点を決めるチャンスはあった。3年生から学んだシュートの打ち方を磨き、さらに強くなって戻ってきたい」

宇東高・GK篠崎優人（29本のシュートを浴びるも奮闘。1点差での惜敗に）「相手のパスワークのうまさやタイミングをずらしたシュートに惑わされた。チームが思い切ってプレーできるように最少失点に抑える瞬発力を身に付けたい」

《ビーチバレー》

（茨城県大洗サンビーチ）

▽少年男子予選リーグMグループ

増山（大津川ノ上）28−16山島（奈良）

▽少年女子予選リーグEグループ

吉田（高知）28−26村野（宇賀神）

続得点などで1点差まで詰め寄ったが、あと1点が届かなかった。

ビーチバレーは少年男子の大島蒼也・増山啓太組が予選リーグで高知のペアに28−26で競り勝った。

《水　球》

（土浦一高プール）

▽少年男子1回戦

沖縄（選抜）13（3−3 3−3 5−4 2−2）12栃木（宇東高）

▽得点者【栃】松原、高橋3、和田5、真光、木嶋2

宇東高・フローター和田昂大（1年生。チーム最多の5得点を決め）「全国大会を楽しむことができたが、もっと得点を決めるチャンスはあった。3年生から学んだシュートの打ち方を磨き、さらに強くなって戻ってきたい」

宇東高・GK篠崎優人（29本のシュートを浴びるも奮闘。1点差での惜敗に）「相手のパスワークのうまさやタイミングをずらしたシュートに惑わされた。チームが思い切ってプレーできるように最少失点に抑える瞬発力を身に付けたい」

《ビーチバレー》

（茨城県大洗サンビーチ）

▽少年男子予選リーグMグループ

増山（大津川ノ上）28−16山島（奈良）

▽少年女子予選リーグEグループ

吉田（高知）28−26村野（宇賀神）

白鷗足利サヨナラ勝ち

茂木、12年ぶり3回戦へ

秋季県高校野球

第72回秋季県高校野球大会（県高校野球連盟主催、下野新聞社など後援）第4日は13日、清原球場ほかで2回戦10試合を行い、宇工、白鷗足利などのシード勢に加え、茂木が12年ぶりに3回戦進出を決めた。

茂木はシードの鹿沼に3−2で勝利。白鷗足利は国学栃木と対戦、3−3で迎えた九回、2死一、二塁で4番森下陽介の適時二塁打でサヨナラ勝ちを収めた。足工は延長十一回の攻防の末、小山南に6−5でサヨナラ勝ち。那須拓陽は宇南に7−4で逆転勝ちした。

大会第5日は14日、同球場など3会場で2回戦の残り6試合を行う。

▽2回戦（県営）

清陵 000 000 100 1
宇工 000 210 00× 3

（清）阿久津−加藤宏（宇）辺刀、横瀬、柿沼−石川

▽本塁打　福田（宇）

▽二塁打　斉藤（宇）

▽二塁打　斉藤（宇）

文星付 000 220 000 4
白鷗 000 000 000 0

（文）鈴木−福田（白）小島、古瀬−渡辺

▽二塁打　鈴木（文）阿久津（白）

小山南 000 000 220 4
足工 200 000 101 1

（延長十一回）

（小）小野口、岡田−久木（足）

渡辺−慶野

▽三塁打　原田（小）慶野、塩島（足）

茂鹿 100 010 000 2
木 110 001 00× 3

（鹿）大竹−加藤（茂）菊地−岡本

▽同（清原）

国学栃木 020 010 000 3
白鷗足利 000 020 101× 4

（国）神山、小野瀬大河、増野−小野瀬大地（白）原野、中山−平川

▽二塁打　黒宮、最上（国）磯、高橋樹、森下（白）

黒羽 001 000 100 2
小山北桜 300 100 22× 8

（黒）阿久津−月井（小）小山、飯嶋−大塚

▽三塁打　菊池昂（黒）大塚（小）

▽二塁打　松島、田中2、中田（小）

▽同（栃木市営）

足大付 400 002 000 6
栃木 000 003 000 3

（足）酒井、荒川、上原−前田（栃）

早乙女、椎名、新島−小林

▽本塁打　小林（足）

▽二塁打　前田（足）

佐野松桜 000 000 100 1
石橋 231 100 00× 7

（佐）猿橋連、鈴木−荒川（石）

▽同（足利市営）

工商 000 000 020 2
宇栃 211 000 01× 5

（栃）山本、星野−堀口、尾池（宇）

高橋友−猪瀬

▽本塁打　中山（宇）

▽二塁打　関口（栃）

那須拓陽 000 200 410 7
宇南 000 031 000 4

（那）佐藤、国井−池沢（宇）橋本−見目

▽三塁打　郡司（那）

▽二塁打　寺島（宇）

山崎−小林

▽三塁打　吉田（石）

▽二塁打　笹川（石）

▽同（足利市営）

工 000 000 020 2
宇栃 商211 000 01× 5

（栃）山本、星野−堀口、尾池（宇）

高橋友−猪瀬

▽本塁打　中山（宇）

▽二塁打　関口（栃）

那須拓陽 000 200 410 7
宇南 000 031 000 4

（那）佐藤、国井−池沢（宇）橋本−見目

▽三塁打　郡司（那）

▽二塁打　寺島（宇）

9回、白鷗足利の森下（中央）がサヨナラ打を放ち、仲間に迎えられる＝清原

勝負分けた「執着心」

○…ライト方向で弾んだサヨナラ二塁打を、ぼうぜんと眺めた国学栃木のエース増野綾人。「最後は低めのスライダー。コース通りだったが…」と言葉を詰まらせた。

先発の神山陽登は四回まで2安打無失点に抑えたが、「気持ちの弱さが出た」五回に2連続四球で降板。七回から登板した増野も流れを変えられず、「内角攻めで死球を二つ出すなど、自分で自分を追い詰めた」と反省した。

リベンジの舞台は来春。星野弘熙主将は「勝利への執着心で負けた。春は優勝できるよう冬を乗り越えたい」と雪辱を誓った。（清原）

平常心でシード撃破

○…シード鹿沼に競り勝ち、12年ぶりに3回戦進出を決めた茂木。矢野歩夢主将は「サヨナラ負けした夏の記憶がよみがえったが、最後まで落ち着いてプレーができた」と笑顔を見せた。

同点で迎えた六回2死一、二塁で、糸井太陽が「コンパクトに打つことを意識した」と勝ち越しの中前適時打。先発の菊地涼太は六回以降2安打無失点の力投で1点リードを守り切った。

8強入りが懸かった次戦の相手は足工。矢野主将は「緊張もあると思うが、集中を切らさずに平常心で戦う」と気持ちを切り替えていた。（清原）

黒羽・阿久津海斗投手

（初戦敗退し）「初回に死球を与えて流れが悪くなり、ストライクが入らなくなってしまった。攻撃でも初球から振れなかったので、今後は全員で強気なスイングを心掛けたい」

大会メモ

【大会記録】▽代打本塁打＝小林右京（足大付）＝3度目、対栃木2回戦

《きょうの試合》

▽清原球場（2回戦）

新一足利清風（午前9時）

大田原−佐野日大

▽栃木市営球場（同）

宇都宮−矢板東（午前9時）

北−青藍泰斗

宇短大付−栃木翔南

▽キョクトウベリースタジアム（同）

真岡北陵−小山（午前9時）

宇

県本少年

「栃の葉」以来、経験財産に

栃の葉国体以来39年ぶりの本大会で「1勝」はならなかった。水球少年男子で宇東高単独の本県チームが、1回戦で沖縄に惜敗。貞光修佑主将は「一番悔しい負け方。全国のレベルを痛感した」と唇をかんだ。

インターハイ常連校が主体の相手に真っ向勝負を挑んだ。試合開始1分で貞光主将が先制点を決めると、

スポット

その後もロングパスを駆使した攻撃が機能。1年生フローターの和田昂大が3得点を挙げる活躍を見せるなど、前半を6−6で終えた。

ただ、運動量が落ち始めた後半は苦戦を強いられた。第3ピリオドはパスミスから3連続失点。その後は1点差に詰め寄り、最後はGKを含めた全員攻撃をつかみ取りたい」と気合十分だった。

佐野日大・水沢颯斗主将（3年ぶりの優勝に向け）「前回、前々回と（決勝で敗れ）悔しい思いをしたので今年は一丸で勝ちにいく。優勝を目指しているので、対戦相手がどこであろうと関係ない」

真岡・相沢雄心主将（県総体優勝。一つ勝てば佐野日大と対戦する可能性が高いことを問われ）「佐野日大には選手権予選で3年連続負けているので絶対に勝ちたい。縦に速いサッカーという強みをしっかり出して戦う」

仕掛けたが及ばなかった。松田貴比古監督は「経験値の差。試合運びで上手をいかれた」と潔く相手をたたえた。

同校は2009年に中高一貫校となったことで、伝統の水球部は中学世代からの強化が可能になった。1980年の栃の葉国体で本県の少年男子は優勝。39年ぶりの本大会に向け、選手たちは「水球の認知度を高めたい」（貞光主将）と意気込んで臨んだ。

3得点を挙げた左45度のエース高橋慶伍が「攻守の切り替えやパススピードは全国でも通用した」と収穫を強調。守備で奮闘した右サイドの2年生木嶋陸駆は「来年こそ勝ちたい」と雪辱を誓った。敗戦を貴重な財産に変え、チームはまた強くなる。（平井星）

9回、白鷗足利の森下（中央）がサヨナラ打を放ち、仲間に迎えられる＝清原

第54回 知事盃ゴルフ

地区大会（13日）

主催／下野新聞社・県ゴルフ連盟・県ゴルフ場協議会

【皐月GC佐野コース・一般男子の部南部B地区ブロック大会】

（7255ヤード、パー74）

【決勝進出者】（グロス、ネット、イン）

+3 ①石川　清巳（佐　野）77（39、38）
+5 ②相沢　久之（足　利）79（40、39）
　 ②古川　和義（小　山）79（38、41）
+6 ④島倉　一浩（下　野）80（42、38）
　 ④荒井　秀和（群　馬）80（42、38）
　 ④遠藤　利也（佐　野）80（41、39）
　 ④東海林　巧（群　馬）80（40、40）
+7 ⑧亀山　進一（　〃　）81（42、39）
　 ⑧和泉　一夫（足　利）81（41、40）
　 ⑧松島登紀夫（佐　野）81（40、41）
+8 ⑪石川　雅樹（宇都宮）82（43、39）
+9 ⑫対比地康雄（栃　木）83（46、37）
　 ⑫菅野　武彦（足　利）83（44、39）
　 ⑫茂呂由紀夫（佐　野）83（44、39）
　 ⑫渋井　和貴（那　須）83（43、40）

【栃木ケ丘GC・グランドシニアの部西部、南部B地区ブロック大会】

（5824ヤード、パー72）

【決勝進出者】（グロス、ネット、イン）

0 ①川嶋　敏夫（栃　木）72（36、36）
+1 ②小野　進（茨　城）73（37、36）
　 ②村上　和男（日　光）73（33、40）
+3 ④大貫　洋二（宇都宮）75（39、36）
　 ④竹迫　清人（　〃　）75（37、38）
+4 ⑥坂本　昭一（　〃　）76（38、38）
　 ⑥横関　秀夫（小　山）76（38、38）
　 ⑥礒　俊男（足　利）76（37、39）
+5 ⑨田村　利光（宇都宮）77（38、39）
+6 ⑩増渕　守哉（　〃　）78（41、37）
　 ⑩佐久間紀明（茨　城）78（40、38）
　 ⑩小池　一規（宇都宮）78（39、39）
　 ⑩川田　健二（佐　野）78（38、40）
　 ⑩相田喜久夫（壬　生）78（38、40）
　 ⑩坂本　茂（鹿　沼）78（37、41）
　 ⑩野沢　浩（宇都宮）78（36、42）
+7 ⑰遠藤　斌（鹿　沼）79（40、39）
　 ⑰木本　秀道（宇都宮）79（40、39）
　 ⑰早乙女幸男（野　木）79（38、41）
　 ⑰船山　光偉（宇都宮）79（37、42）
　 ⑰落合　功（群　馬）79（37、42）
　 ⑰辻　四郎（埼　玉）79（36、43）
+8 ㉓高久　武男（栃　木）80（42、38）
　 ㉓佐山　和夫（佐　野）80（42、38）
　 ㉓渡辺　雄一（小　山）80（41、39）
　 ㉓高橋　映夫（宇都宮）80（41、39）
　 ㉓渡辺　重夫（　〃　）80（40、40）
　 ㉓関根　晴一（埼　玉）80（39、41）
　 ㉓鈴木　善雄（栃　木）80（38、42）
　 ㉓佐々木正幸（鹿　沼）80（38、42）
　 ㉓秋山　博（栃　木）80（38、42）
　 ㉓栗原　隆男（宇都宮）80（38、42）
+9 ㉝桜井　茂（日　光）81（42、39）
　 ㉝直井　秀郎（宇都宮）81（41、40）
　 ㉝黒川　一雄（日　光）81（41、40）
　 ㉝広田　博（　〃　）81（39、42）
+10 ㊲星　勝美（　〃　）82（44、38）
　 ㊲園部　保男（野　木）82（44、38）
　 ㊲荒川　隆男（佐　野）82（41、41）
　 ㊲茂木　信一（　〃　）82（41、41）
　 ㊲中原　逸雄（宇都宮）82（40、42）
　 ㊲坂本　康之（栃　木）82（40、42）
　 ㊲鮎田　耕二（鹿　沼）82（40、42）
　 ㊲山本　章（埼　玉）82（39、43）
　 ㊲岩田　克己（宇都宮）82（36、46）
+11 ㊻菅野　一男（　〃　）83（42、41）
　 ㊻関根　陽一（　〃　）83（42、41）
　 ㊻三橋　和彦（　〃　）83（42、41）
　 ㊻村上　正男（日　光）83（42、41）
　 ㊻高田　幸夫（東　京）83（41、42）
　 ㊻大場　宣明（宇都宮）83（38、45）
+12 ㊷大橋　育夫（壬　生）84（42、42）
　 ㊷小井沼理一（栃　木）84（41、43）
　 ㊷内藤　達雄（日　光）84（40、44）
　 ㊷大島　義和（宇都宮）84（40、44）
　 ㊷桜本　安成（小　山）84（40、44）
　 ㊷渡辺　保博（　〃　）84（39、45）
+13 ㊽岩本　功（日　光）85（45、40）
　 ㊽大音　正光（宇都宮）85（44、41）
　 ㊽山形　明（栃　木）85（44、41）
　 ㊽増山　勲（小　山）85（43、42）
　 ㊽今井　英城（宇都宮）85（43、42）
　 ㊽伊沢　三恵（日　光）85（42、43）
　 ㊽長　芳弘（足　利）85（40、45）
　 ㊽福田　栄二（東　京）85（40、45）
　 ㊽鈴木　克也（栃　木）85（40、45）
+14 ㊼宮崎　健二（茨　城）86（45、41）
　 ㊼山際　晃一（宇都宮）86（44、42）

あすMGC

高久「最後まで集中」

大迫ら男女40選手が会見

東京五輪マラソン代表の座を争う15日の「グランドチャンピオンシッ

ツール・ド・とちぎ

第4回大会で終了を正式発表

県内全域を舞台とする国際自転車ロードレース「ツール・ド・とちぎ」を主催するNPO法人ツール・ド・とちぎの会よると、過去3回で観戦客や経済活性化につなげようと2017年に初開催。主催者発表によると、来年3月に開催する第4回大会をもって同レースを終了することを発表した。

大会は県内の観光誘客や経済活性化につなげようと2017年に初開催。主催者発表によ